

2024.04.24

日立ソリューションズ・クリエイトが従業員の愛着心育む新サービス 5年で10万ユーザー目指す



新サービスで一気に利用拡大を目指すという三原事業部長（右）と左近允担当部長＝23日午前、東京都港区



ダッシュボードで利用状況が確認できる



コミュニケーションの活性化を図るはぐみスペース

日立ソリューションズ・クリエイト（東京都品川区）は23日、経営層と従業員が自発的で継続的にコミュニケーションを行い従業員のエンゲージメント（愛着心）を高められるようにするサービスを発売すると発表した。新サービスは、社内実践などの知見を応用し従業員同士のコミュニケーション活性化だけでなく目標の擦り合わせや企業理念といった従業員エンゲージメントを高めるための仕掛けを組み込んだ。今後5年で400社10万ユーザーの導入を目指す。

新サービス「従業員エンゲージメント育みサービス」は、出社や在宅勤務など働く場所を選ばないテレワークを推進している企業でも従業員同士だけでなく経営層とのコミュニケーションを深く行えるようにする。また、企業と個人の目標設定の擦り合わせもできる。

これまで同社は従業員の場所などを可視化し在宅でも出社でも垣根なくコミュニケーションやプロジェクト進行ができる独自開発の「仮想オフィス」を活用するとともに他社展開してきた。仮想オフィスは約40社1万ユーザーが利用しており、新サービスは仮想オフィスで培った知見を応用した。仮想オフィスで使える機能は新サービスでも利用でき、より高度なコミュニケーションやエンゲージメント向上への取り組みができる。

同日都内で会見したデジタルトランスフォーメーション事業部ワークスタイルイノベーション本部HRビジネス部・左近允担当部長は「従業員のエンゲージメントを育む場になる」と述べた。

新サービスは従業員のエンゲージメントを育んでいくためのプロセスを、①つぶやき②他者を知る③つながる④働きがい—の四つのステップと観察により進めていく。サービスの利用促進を図るためにコンシェルジュ「執い」を置き、経営層と従業員との接点づくりやコミュニケーションの支援をする。最終的に経営層と従業員が本音で話せるようにしていく。

利用促進できるよう執いがい毎日お題を出し、つぶやきのヒントをくれるほか、つぶやいた人のコメントは画面上に顔アイコンとともにランダムに表示され、気になる人をフォローしたり、コミュニティーに参加したりできる。経営層も同様につぶやけるため、従業員同様につながりやすくなるという流れを自然に作り上げていける特徴がある。

個性に合わせて

サービスの利用状況は、ダッシュボードで確認できる。コメントやリアクションの発生状況に加え、勤務時間や勤務場所など組織の状態を把握するために必要な情報も表示できる。左近允担当部長は「繰り返し利用することで効果も増していく。3カ月でエンゲージメントポイントが上がった実績もある」とし、サービスは個性に合わせて使いやすい環境を整えた。

サービスはパソコンやスマートフォンから利用できるクラウドサービスで事前登録だけで始められる。利用は100ユーザーからで月3万8000円（税込み）からとなる。25年3月までは100ユーザー月額3万円からのキャンペーン価格で提供する。

これまでの仮想オフィスはマイクロソフトのコミュニケーションサービス「マイクロソフト365」と連携していたが、新サービスは、全ての環境で利用可能だ。執行役員の三原丈英デジタルトランスフォーメーション事業部長は「新サービスを拡販し5年後に10億円規模に、関連事業で20億円まで拡大したい」と述べた。今後、各種調査結果などとの連携や人工知能（AI）技術を活用した第2弾、第3弾のサービス展開もしていく計画だ。

※本記事は、発行元の許諾を得て掲載しております。